

農林水産省政策Open Lab「アス→ノウ」プロジェクトについて



- 農業界でのアスリートの活躍が農業界及びスポーツ界の課題の解決につながるのではないかと考え、2024年7月、農業界でのアスリートの活躍を後押しする施策の検討のため、「アス→ノウ」プロジェクトを始動。
- これまで、農業界で活躍するアスリートやチームの取組事例の調査等を実施（計約20）。

取組の背景

- ・ 農業界では、農業者の減少、農村機能の低下、農業内外からの人材の呼び込み等に課題
- ・ 一方、スポーツ界では、アスリートのセカンドキャリア、アスリートやチームの収益等に課題

引退したアスリートやチームが農業界で活躍し、両界の課題解決に資する事例が散見
農業界とスポーツ界が連携することで、両界の課題を同時に解決できるのではないか



新規政策の立案・実行を支援する制度「政策Open Lab」(※1)にて、

2024年7月、農林水産省の若手職員を中心(※2)に

「アス→ノウ」プロジェクトを立ち上げ

あす アスリート
～明日に向かって農に取り組む選手たちを応援するプロジェクト～

※1：農林水産省内の制度（部局横断的）
業務時間の1～2割を活動に充当可能

※2：2024年7月当初、入省1,2年目職員7名で
スタートし、2025年7月現在、計14名

取組の概要

アスリートの取組事例の 現状・課題・今後の展望等の調査

- ・ セカンドキャリアで農業を行うアスリート
- ・ 副業的に農業に取り組むチーム

スポーツ関係団体、農業関係団体、 自治体等の取組の調査

- ・ スポーツ界のキャリア支援等
- ・ 農業関係団体の農業参入支援等
- ・ 自治体のスポーツ振興、農業参入支援等

農業界でのアスリートの活躍における 効果・課題等の抽出

- ・ アスリートやチームの農業界への参入による効果
- ・ アスリートやチームの農業界への参入における障壁・課題

施策の検討



取組の成果

○ 2024年度に実施したアスリートやチームの農業の取組事例の調査等により、

・ 農業界でのアスリートの活躍には様々な効果があることが判明

(農業界)

- ・ アスリートが農業をすることで、農業に多くの人の関心と呼ぶことが可能
- ・ アスリートから食の大切さを発信することを通じ、食への興味・関心の向上
- ・ アスリートの関わりによる、地域のブランド力向上、交流人口の増加

(スポーツ界)

- ・ セカンドキャリアやアスリートの副業先の選択肢が広がる
- ・ 農業を媒介として、地域のファン・サポーターの確保等が可能となり、チームのブランド力の向上、収益力の強化につながる

・ 一方、農業に参入したアスリートやチームからは、様々な課題があるとの声

・ 農業の世界を知らないアスリートが大半

⇒アスリートに興味を持ってもらう、きっかけづくりが必要

・ 農業の政策や先行事例の情報を得にくい

⇒アスリートやチームに有益な情報が流れる仕組みが必要

・ 情報が一元的になっていない

⇒農業に取り組むアスリートやチーム等が互いに情報交換できる場が必要

これまでの調査結果を踏まえて得られた必要な方策（案）

- ・ スポーツ界、農業界、自治体等への営業活動（情報提供の促進・キャリア啓発）の実施
- ・ スポーツ界、農業界、産業界、自治体の関係者を会員としたコミュニティの創設



今後の「アス→ノウ」

○ 2025年度は、

- ・ アスリートやチームの属性、参入前後・参入時などの段階に応じたよりきめ細かな分析・課題の抽出を行い、
- ・ 農業界でよりアスリートが活躍できる環境づくりに向け、課題解決に向けた施策の検討を深化

農業界から、農業界・スポーツ界の課題を解決／社会課題の解決（win-winの関係）